令和８年度都道府県等を核とした地域脱炭素施策づくりモデル事業創出支援等委託業務（その２）
質問回答

NO.	質問	回答
1	１．検討会・会議等・打合せ及び会議運営について 仕様書３．(1)①(ア)の「検討会」と同３．(1)②の「会議等」は、同一の会議として開催可能でしょうか。 また、仕様書３．(1)⑤の打合せ（最大20回程度）と同３．(4)の環境省との月１回程度の定例打合せは、一部重複する想定でしょうか。 会議等に係る資料印刷、会場設営、受付、司会進行、写真撮影、映像記録等は、県有施設利用時も受託者対応との理解でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。 検討会と会議等は同一の会議として開催可能です。 打合せと定例打合せは一部重複しても問題ございません。 会議等に係る資料印刷等は県有施設利用時も受託者対応を想定しております。
2	２．評価基準表における実績の対象範囲について 評価基準表2.1の加点項目「これまで、滋賀県の事業を支援した実績があること」は、提案者自身の実績に限られますでしょうか。共同事業実施者、再委託先、協力者等として実施体制に明記する者の実績も対象となり得るでしょうか。	加点の対象は、提案者自身の実績に限定されます。
3	３．賃上げ表明に係る加点対象について 入札説明書59ページの賃上げ表明による加点について、中小企業等以外の事業者は対象とならないと想定しておりますが、対象となりますでしょうか。対象となる場合は、増加率や提出書類等をご教示ください。	中小企業等以外の事業者は加点対象となりません。
4	４．視察に係る旅費の負担について 仕様書３．(1)②に記載の視察者最大20名程度の旅費は、本業務の事業費から受託者が支出・精算する前提と認識しておりますが、認識に誤りございますでしょうか。	ご認識の通りです。
5	提案書の（※）Ａ４版１枚以内。複数の事項を提案する場合はそれぞれＡ４版１枚以内ずつとする。について、複数の事項の解釈はどのように解釈して良いか。例えば（ア）産業分野における脱炭素化モデルの検討について、先進事例整理、連携モデル構築などでそれぞれ分けて1Pずつ記載する事は可能か。	例で記載頂いている内容については、項目ごとに分けず、Ａ４版１枚以内に全て記載をお願い致します。想定するモデルが複数あり、モデルに応じて支援方針が異なる場合は、それぞれＡ４版１枚以内ずつ記載をお願い致します。